

<道徳科における活用のポイント>

道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習が、より効果的に行われるようにするための手段として ICT やタブレット端末を活用すること。

事例1 自分の状況を表現、共有する場面（希望と勇気、努力と強い意志）

小学校高学年⇒ より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。

中学校 ⇒ より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

使う機能：座標軸 配布 提出 共有



「自分の夢や目標はありますか。その夢や目標に向かって努力していますか。」という発問に対して・・・

- ①教師が座標軸を児童生徒の端末に配布
- ②児童生徒が自分の当てはまるところに印を付ける。
- ③教師が全員から回収した座標軸をタブレット端末に共有
- ④友達の傾向を自分の端末で確認
- ⑤考えを聞いてみたい友達に考えを聞く。

効果的ポイント

- ・黒板にネームプレートを貼るよりも時間が短縮され、ネームプレートを先に貼った児童生徒の考えに影響されにくく、一人一人が自分の意見を表現できる。
- ・共有された友達の考えを視覚的に捉えることができ、自分の考えと同じ友達や違う友達を見つけることが容易にできる。

事例2 自分の思いを写真で表現、共有する場面（★）

内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

小学校：自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること

中学校：自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること

使う機能：検索 カメラ
提出 共有

★事前に課題として、「きれいなものや美しいもの」を探して、タブレット端末に入れたり、提出したりする。（インターネットを活用したり、タブレット端末のカメラ機能で実際に撮影したりする。）授業の導入において、児童生徒が見つめてきた写真を全体に共有し、友達が「美しい」と思った理由を聞く。